

『今日、生きていることに感謝して』

岡山県

岡山県立岡山操山中学校 一年

中島 彩花

なかしま さやか

テレビを付けると、毎日といってよい程に交通事故で人が亡くなったというニュースを目にする。大型トラックと幼い子どもが乗った乗用車との事故。学生の乗ったバスの転倒事故等。これからを生きる若い人たちの命が奪われている。なぜ、事故は起きるのだろうか。

母が保育園で受け持っていたお子さんが、小学生の時交通事故に遭い、上二人が亡くなり、下のお子さんと運転していたお母さんが助かった。という話をしてくれた。ニュースで名前を見たときは、何度も名前を確認したし、ガードレールに刺さった車のそばに落ちていた靴の映像が今でも忘れられない。私は、それを聞いて、生き残ったお母さんと下のお子さんお父さんは、どんな想いで過ごされているのだろうか。もし私とその立場だったら、生きている心地がしないのではないか。今もずっと辛くて苦しくて、自分たちを責め後悔し続けているであろう。想像しても想像しきれない。考えただけで、心が痛む。

私は、数か月前に母の運転する車に乗っていて事故にあった。「青信号よし！」と妹が言い、交差点を左折しようと一緒に歩行者確認をし、曲がろうとしたら、ドン。ガリガリガリ。と雷が落ちたような音がした。何が起きたか一瞬わからなかった。右から車が赤信号無視で私たちの乗っている車に突っ込んできた。とても怖かったが、妹がふるえているのと、母が何度も「大丈夫？怪我はない？ゴメンね。ゴメンね。」と言うので、うなづくことしかできなかった。母は減速していたし、車体の右前にぶつかかったので、私たちは助かったのだ。もし何秒か速く進んでいたら、運転席に直進で突っ込まれていて、母は亡くなっていたかもしれない。窓ガラスが割れ、ドアが破れ、ブレーキも踏めていなかったかもしれないと考えると何日も眠れなかった。逆に私たちが大怪我をしていたら、母は一生後悔しながら生きる事になっていたかもしれない。とても怖くなった。こちらがいくら気を付けていても事故は起こった。シートベルトを着けていて本当に良かったと思う。

飲酒運転や信号無視、これらは、交通ルールを守れていないから起きる。自分中心の考え方、自分さえ良ければちよつとくらい・・・という相手のこと、周りの人のことを考えていないから起こるのではないだろうか。わき見運転等のちよつとしたミスも周りの人の命の大切さを考えていたら減るように思う。

被害者やその家族、交通事故等で苦しみ続ける人が一人でも減るように、私は交通ルールを理解し守り、命の大切さを伝えていきたいと思う。普段から、自分のことだけを考えて生活するのではなく、周りの人たちのことを思いやり、生きていこう。今日、私が生きていることに感謝して。